

平成 27 年度

第 3 回 水 戸 市 立 図 書 館 協 議 会

日 時 平成 28 年 3 月 28 日 (月) 午前 10 時 ~ 11 時 50 分

場 所 水 戸 市 立 中 央 図 書 館 3 階 視 聴 覚 室

# 次 第

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 会議録作成署名委員の選出

## 4 議 題

(1) 平成 28 年度図書館運営方針及び重点課題（案）について

(2) 平成 28 年度予算の主な事業について

(3) 平成 28 年度図書館運営日程について

(4) 水戸市子ども読書活動推進計画（案）について

(5) その他

ア 学校図書館支援事業について

イ 中央図書館休館中（H28 年4月～H30 年3月）の各種サービスの変更について

ウ 平成 28 年度指定管理者事業計画について

## 5 閉 会

## (1) 平成 28 年度図書館運営方針及び重点課題（案）について

### 【運営方針】

図書館においては、図書館基本計画（第 3 次）に基づき、図書や資料の収集等をはじめ、学校図書館と連携し、子どもが読書に親しむ環境づくりを進めるなど、市民の自主的な学習活動の支援に努める。また、施設の安全性を確保するため、中央図書館の耐震化を推進する。

### 【重点課題】

- ア 図書館資料、レファレンスサービスの充実
- イ 図書館資料（新聞紙面）の電子化
- ウ 学校図書館支援事業の推進
- エ 子どもの読書活動の推進
- オ 地域の特性を生かした図書館づくりの推進
- カ 市民との協働による図書館活動の推進
- キ 中央図書館の耐震化事業の推進（耐震補強工事・設備改修）
- ク 子ども読書活動推進計画の策定

(2) 平成 28 年度予算の主な事業について

ア 平成 28 年度予算 (案)

(単位：千円)

項 目	H28 予算額	H27 予算額	前年度差額
運営管理関係経費	404,416	429,944	△25,528
資 料 費	55,637	56,000	△363
施設整備費	208,700	20,000	188,700
計	668,753	505,944	162,809

イ 図書館資料電子化事業

(予算額 100 千円)

製本化して所有しているが、資料状態が悪いため利用者への提供に支障をきたしている「読売新聞茨城県版」のうち、昭和 36 年 1 月～12 月分の電子化を実施し、利用者の閲覧に供する。

※過去の電子化資料

- H20 佐藤中 陵作『山海庶品』, H21 松平俊雄作『常磐公園攬勝図誌』,  
 H22 菊池幽芳作『小夜子』, H23 水戸市航空写真, H24 茨城県名士肖像録他  
 H25 読売新聞茨城県版 (S28 年 3 月～7 月, 9～12 月, S29 年 1 月～12 月)  
 H26 読売新聞茨城県版 (S23 年 1 月～S25 年 4 月)  
 H27 読売新聞茨城県版 (S30 年 1 月～10 月, S35 年 2 月～10 月, 12 月)

ウ 親子で絵本事業

(予算額 1,560 千円)

毎月、保健センターで実施される 7 ヶ月児健康相談時に、ボランティアの方々の協力のもと絵本の読み聞かせと絵本セットの配布を年 30 回実施し、子どもの読書活動を推進する。

○H27 実績：29 回実施，2,210 人に配布 (※H28.3 月 14 日現在)

(ア) 事業日程 (30 回)

年 月	日 (曜日)	年 月	日 (曜日)
H28. 4 月	11(月)・20(水)・25(水)	10 月	3(月)・19(水)・25(火)
5 月	9(月)・23(月)	11 月	7(月)・21(月)
6 月	1(水)・13(月)・27(月)	12 月	7(水)・12(月)・26(月)
7 月	11(月)・25(月)	H29. 1 月	10(火)・23(月)
8 月	1(月)・22(月)・31(水)	2 月	6(月)・13(月)・20(月)
9 月	12(月)・26(月)	3 月	6(月)・27(月)

(イ) 親子で絵本セット内容

- ・選定絵本から1冊贈呈（※選定絵本については、一部見直しの予定）

『じゃあじゃあびりびり』（まっいのりこ 作）

『てんてんてん』（わかやましずこ 作）

『もうねんね』（松谷みよ子 文、瀬川康男 絵）

『がたんごとんがたんごとん』（安西水丸 作）

- ・赤ちゃんといっしょに楽しむ絵本リスト
- ・赤ちゃん向けおはなし会の案内
- ・「親子で絵本のすすめ」チラシ
- ・図書館案内
- ・図書館登録申請書

エ 中央図書館・博物館の耐震化事業（耐震補強・設備改修工事）（予算額 208,700 千円）

平成 25 年度に実施した耐震診断調査の結果、耐震補強が必要なことが判明した中央図書館・博物館の耐震補強工事及び設備改修工事（空調設備・給排水衛生設備・消防設備・エレベーター等）を実施する。（H28～H29 継続事業）

オ 学校図書館支援事業 ※別紙参照（予算額 15,630 千円）

学校図書館の充実のため、図書館の司書が学校図書館支援員として各学校への巡回指導を行い、司書教諭や学校ボランティア等と協働して、学校図書館へのコンピュータシステム導入に向けた蔵書のデータベース化や蔵書整備、環境整備、読書の奨励推進、図書館資料の選書や授業における学習活動支援などを行う。

カ 指定管理者制度の導入 ※別紙参照（予算額 197,900 千円）

市民サービスの向上及びより効率的・効果的な図書館運営に向けて、平成 28 年 4 月から中央図書館を除く地区館 5 館（内原図書館は平成 30 年 4 月から）に指定管理者制度を導入する。

(3) 平成28年度図書館運営日程について

1 平成28年度図書館の休日について

ア 月曜日休館 : 東部図書館, 西部図書館  
 金曜日休館 : 内原(中央)図書館, 見和図書館, 常澄図書館  
 ※祝日と重なる日は開館

イ 毎月第1木曜日(11月を除く)

4月7日, 6月2日, 7月7日, 8月4日, 9月1日, 10月6日,  
 12月1日, 1月5日, 2月2日, 3月2日 (10日間)

ウ 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日のうち, 元日を除き  
 すべて開館とする。

月日	曜日	国民の祝日	内原(中央)・東部 ・西部・見和・常澄
4/29	金	昭和の日	祝 日 全 日 開 館
5/3	火	憲法記念日	
5/4	水	みどりの日	
5/5	木	子どもの日	
7/18	月	海の日	
8/11	木	山の日	
9/19	月	敬老の日	
9/22	木	秋分の日	
10/10	月	体育の日	
11/3	木	文化の日	
11/23	水	勤労感謝の日	
12/23	金	天皇誕生日	
1/9	月	成人の日	
2/11	土	建国記念の日	
3/20	月	春分の日	

エ 年末年始期間 12月29日 ~ 翌年1月3日 (6日間)

オ 図書整理期間

(ア) 内原(中央)図書館 5月16日 ~ 5月24日 (9日間)  
 (イ) 東部図書館 6月27日 ~ 7月8日 (12日間)  
 (ウ) 西部図書館 6月20日 ~ 6月24日 (5日間)  
 (エ) 見和図書館 6月27日 ~ 7月1日 (5日間)  
 (オ) 常澄図書館 6月20日 ~ 6月24日 (5日間)

2 平成28年度開館日数及び休館日数

区分	内原(中央)図書館	東部図書館	西部図書館	見和図書館	常澄図書館	合計開館日数
開館日数	291日	294日	299日	295日	295日	1,474日
休館日数	74日	71日	66日	70日	70日	

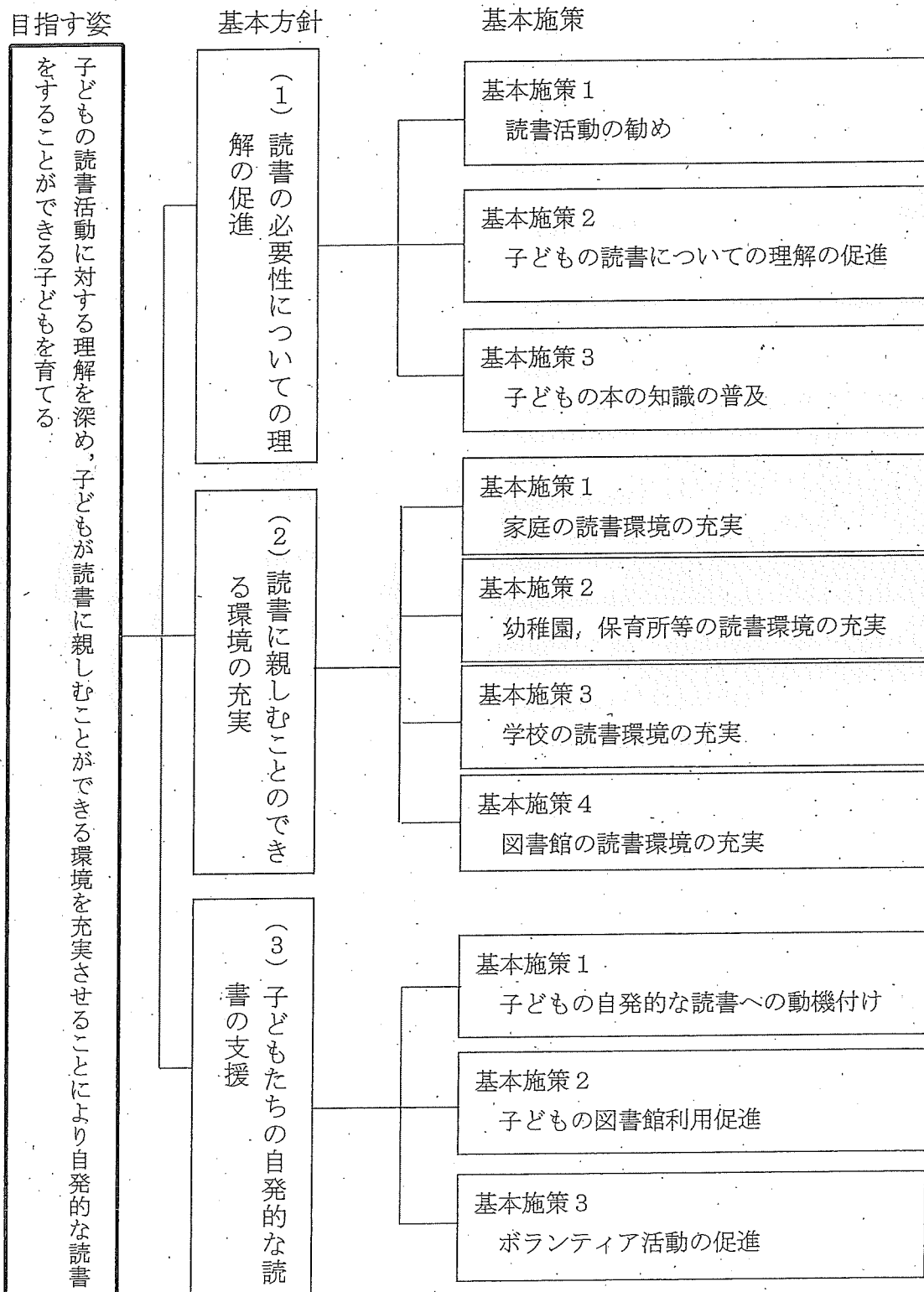
参考 平成27年度開館日数(5館計) 1,435日

3 年度別開館日数等の比較について

項目	19年度 (閏年)	20年度	21年度	22年度 [震災]	23年度 (閏年)	24年度	25年度	26年度	27年度 (閏年)	28年度
館数	4	5	5	6	6	6	6	6	6	5
年間合計 開館日数	1,140	1,412	1,408	1,695 [当初予定]	1,713 [当初予定]	1,708	1,725	1,723	1,723	1,474
年間開館 日数	351	349	348	348 [当初予定]	350 [当初予定]	347 [当初予定]	349	349	349	349
年間休館 日数	15	16	17	17 [当初予定]	16 [当初予定]	18	16	16	17	16
年間開館 率 (%)	95.9	95.6	95.3	95.3 [当初予定]	95.6 [当初予定]	95.1	95.6	95.6	95.4	95.6
職員(人)	27	27	27	27	27	27	27	27	27	12
嘱託(人)	20	29	29	36	36	36	36	36	36	11
臨時職員 (人)	10	11	11	14	14	14	14	14	14	2
摘要		常澄図書 館 4/20 開館		内原図書 館 4/16 開館	広域利用 に小美玉 市加入					4/1~ 東部・西部 見和・常澄 図書館へ 指定管理 者制度導 入
	土、日、祝 日開館時 間延長  図書・雑誌 のインタ ーネット 在架予約 開始  (図書・雑 誌のインタ ーネット 予約はH 15.7開 始)	配本章の 運行開始  貴重資料 のインタ ーネット 公開開始		東日本大 震災によ る臨時休 館 【延92日】	震災復旧 工事によ る臨時休 館【延72 日】 電算シス テム入替 のため臨 時休館【延 21日】当初 予定の図 書整理期 間を開館 【延17日】 《結果》 延76日休 館	電算シス テム入替 のため臨 時休館延 15日(当初 に予定済) 視聴覚資 料・紙芝居 のインタ ーネット 予約(在架 含む)開始	西部図書 館屋根・屋 上防水工 事 中央図書 館・博物館 の耐震診 断	東部図書 館屋上防 水工事	中央図書 館・博物館 の耐震化 にかか る実施設計	中央図書 館・博物館 耐震化工 事(28・29 年度)

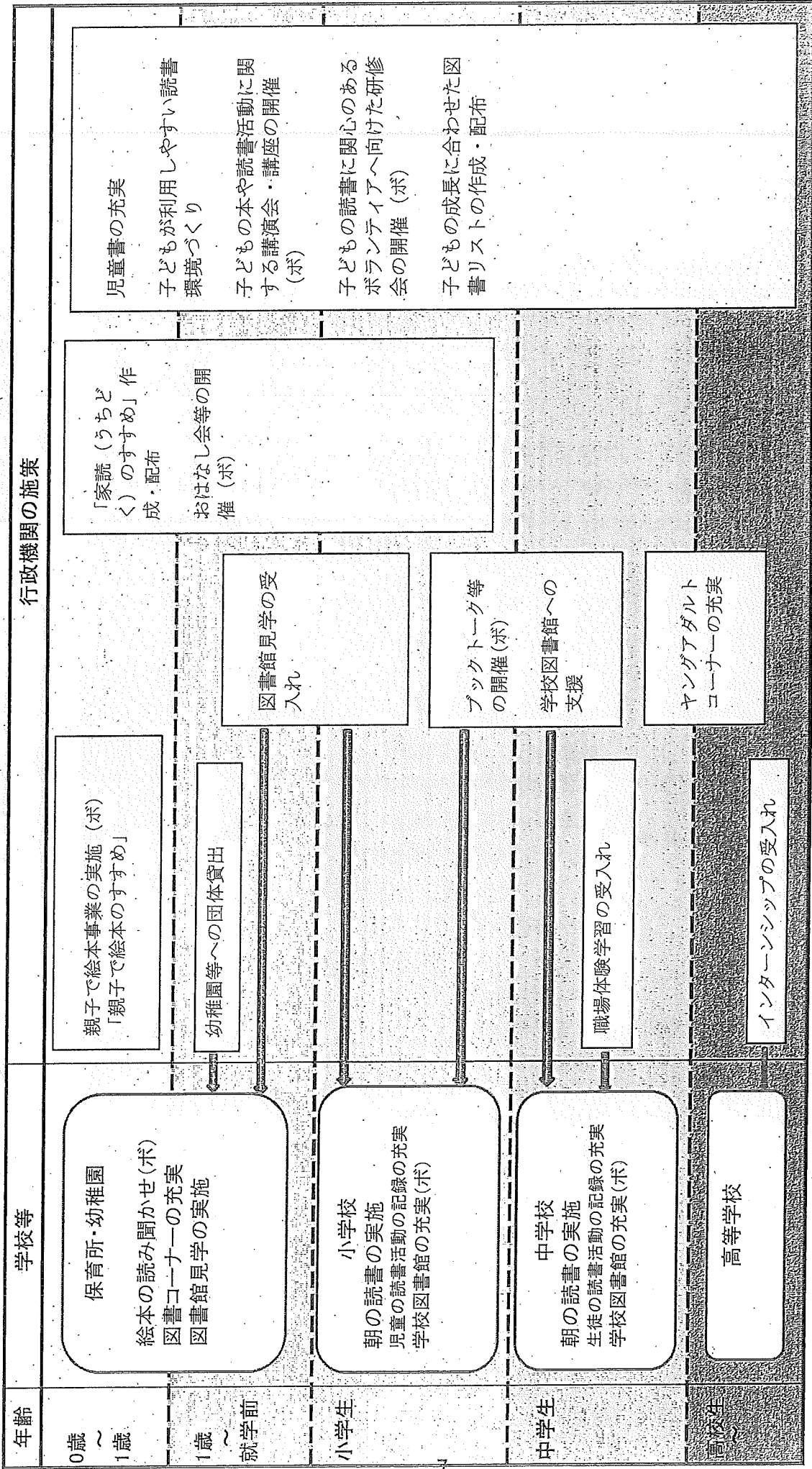
(4) 水戸市子ども読書活動推進計画（案）について

施策の体系 子どもの読書活動に対する理解を深め、子どもが読書に親しむことができる環境を充実させることにより自発的な読書を行うことができる子どもを育てるため、3つの基本方針に基いた施策の体系を次の通りとします。





子どもの成長段階と主な具体的施策の関連図



子どもの読書活動に対する理解を深め、子どもが読書に親しむことができる環境を充実させることにより自発的な読書ができる子どもを育てる

## (5) その他

### ア 学校図書館支援事業について

#### 1 目的

水戸市中央図書館では、平成28年度より指定管理者制度が導入されることに伴い、子どもたちが主体的な読書習慣を身に付け、本との出会いを通して、生きる力と豊かな感性を育むことができるよう、学校図書館の充実に向けた支援を強化する。

#### 2 事業内容

市内33小学校及び16中学校の学校図書館の支援を行う司書職員を配置し、学校図書館担当教諭や学校図書館ボランティア等と連携し、学校図書館蔵書のデータベース化による利用促進、市立図書館からの団体貸出などによる学校図書館の充実を図り、子どもの読書活動を推進する

具体的には、学校図書館の活性化支援として以下の取り組みを行う。

区分	内容
学校図書館蔵書のデータベース化による蔵書管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校図書館蔵書のデータベース化 図書館内の蔵書を整理し、コンピュータに登録する図書と廃棄候補図書の選別を行う。 登録する図書を決定後、ラベル張替えやバーコード貼付等のデータ登録前準備作業を行う。</li><li>・データベース化による学校図書館蔵書管理システムの構築 学校図書館内でのコンピュータによる貸出や図書の検索等を行い、図書の効率的な利用を可能にする。</li></ul>
学校図書館内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・分類や配架方法の工夫</li><li>・新着図書の別置</li><li>・掲示物やコーナー作りの提案、アドバイス等</li></ul>
各種相談へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校図書館で購入する候補図書等のアドバイスや情報提供</li><li>・学校図書館運営の助言等</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・図書館からの団体貸出の仲介</li><li>・学校図書館活性化に向けた各種情報の提供等</li></ul>

※支援内容は、学校図書館担当教諭や学校図書館ボランティア等と連携し、各学校の実情に合わせ協議の上決定する。

### 3 運用方法

区分	内容
巡回方法	・総合教育研究所、各小学校と協議の上、巡回方法等について決定する。
作業管理	・各回の巡回訪問後作業報告を作成し、総合教育研究所と情報共有を行う。
定期的なヒアリング	・学校図書館担当教諭や学校図書館ボランティア等と定期的な打ち合わせを行い、進捗状況の報告や要望等のヒアリングを行う。

※作業に必要となる消耗品や備品の調達については、その都度協議を行う。

### 4 今後のスケジュール

#### (1) 平成28年度

- 学校図書館支援事業連絡会議の開催（年1回）
- 小学校での学校支援開始（担当司書5名配置）
  - ・現地調査の実施
  - ・年次支援計画の作成
  - ・学校図書館内の環境整備
  - ・各学校において、登録候補図書、除籍候補図書の選定  
（蔵書管理システムの検討及び決定）
  - ・小学校図書のデータベース化に向けたラベル張替えやバーコード貼付等の準備作業

#### (2) 平成29年度～

- 学校図書館支援事業連絡会議の開催（年1回）
- 中学校での学校支援開始（担当司書3名配置予定）
  - ・各学校において、登録候補図書、除籍候補図書の選定及び年次支援計画の作成
  - ・中学校図書のデータベース化に向けた準備作業
  - ・小学校・中学校の図書データ入力

※3年～5年をかけてデータベース化を完了し、各学校図書館内での蔵書管理システムによる貸出や検索等の業務開始を予定

## イ 中央図書館休館中の各種サービスの変更について

### (1) 休館する期間

平成28年4月1日から平成30年3月31日まで

### (2) 中央図書館から内原図書館に移転する業務

#### ・1：団体貸出

移転作業終了（7月見込み）から内原図書館で団体貸出を行う。

#### 2：その他

視聴覚ライブラリー機材、教材の一部の貸出

郵送貸出

有料オンラインデータベース（茨城新聞、朝日新聞）

郷土行政資料に関するレファレンスサービス

### (3) 中央図書館から内原図書館へ移転する資料

冊数（概算）	43,160冊
--------	---------

中央図書館所蔵のうち、団体貸出用図書（約25,000冊）と郷土資料の一部（約5,000冊）およびその他の資料（13,160冊）を内原図書館へ移転し、その活用を図る。

### (4) 国会図書館資料の閲覧サービス

見和図書館・常澄図書館・内原図書館について新たに開始予定

（東部図書館・西部図書館は実施済み）